

**各企業等の社会貢献**

**宮坂建設工業が落ち葉清掃**

**憩いの場をきれいに**

社員50人が帯広中央公園等で



「睦会」をつくり、二カ月に一回程度ボランティアで中央公園を清掃。同社が単独で清掃するのは四回目、公園や周辺の歩道に散らばる落ち葉を拾集した。

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は十六日、地域貢献の一環として、本社近隣にある帯広中央公園と周辺の歩道で落ち葉清掃を行った。社員五十人が参加。スコップや熊手などを使って、市民の憩いの場となっている公園に散らばる落ち葉を拾集した。写真1。

はじめに同社の高道伸常務執行役員があいさつ。「公園は市民の皆さんの憩いの空間となっている。丁寧に清掃しよう」と呼びかけた。清掃では熊手やスコップなどを使い、「雪かき」をするような要領で落ち葉を拾集。落ち葉を丁寧に集めてごみ袋に詰めていくと、公園や周辺歩道は見違えるほどすっきりとした。集めた落ち葉は四千ポンドで、農事組合法人帯広有機に搬出して有機肥料として再利用する。

コンテナ六個分に。帯広市都市建設部みどりの課の勤

め、農事組合法人帯広有機に搬出して有機肥料として再利用する。

2013.11.19 北海道建設新聞

**中央公園治いで落ち葉拾い奉仕**

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業(本社・帯広、宮坂寿文社長)は16日、地域貢献活動の一環として、中央公園治いの道路で落ち



葉拾いをした。写真2。

4年目となることは、本社の事務職員を中心に50人が参加。開始に先立ち高道伸常務執行役員が、前日の雨で足元がぬかるみ、滑ってけがをする恐れがあるため、注意して作業するよう呼び

掛けた。参加者は市中央公園治いの道道と市道の歩道で、スコップや竹ぼうきなどを使ってカシワなどの落ち葉をかき集め、4000ポンドのコンテナ6個分を回収した。集めた落ち葉は堆肥などを生産する市内の農事組合法人に搬送。有機肥料として再利用される。